

会議録

令和 8 年度 大井川児童センター運営委員会		日時	令和 8 年 8 月 3 日 (月) 9 時 30 分～10 時 30 分
		会場	大井川児童センター とまとぴあ 遊戯室
議事	(1) 焼津市大井川児童センター令和 7 年度事業報告について (2) 焼津市大井川児童センター令和 8 年度事業計画について		
出席者 (16 人)	【委員（敬称略）】 池谷 廣 渡邊 英昭 内田 いつ乃 鈴木 正志 澤口 智美 片瀬 莉子 田端 宏美 油井 きみ代 半田 しずか 丸山 宏枝	大井川東自治会宗高区 区長 大井川東小学校 教頭 焼津市教育センター センター事業指導委員 焼津市社会福祉協議会 大井川支所 支所長 大井川保育園 保育士 静浜幼稚園 教諭 主任児童委員部会 ボランティア 愛つなぎ会 乳幼児保護者 施設利用者代表 小学生保護者 施設利用者代表	
	【事務局】 緒方 千晴 奥川 貴大 法月 朱里 田中 りりか 高橋 みち子	大井川児童センターとまとぴあ 館長 兼子育て支援課 課長 子育て支援課 子育て政策担当 係長 子育て支援課 子育て政策担当 主事 子育て支援課 子育て政策担当 主事 大井川児童センターとまとぴあ 児童厚生員	

- 1 開会
- 2 委嘱状伝達
- 3 子育て支援課長挨拶
- 4 議事
- 5 閉会

【池谷会長】

それでは議事に入ります。本日、案件は2件です。まず、「令和7年度の大井川児童センターの事業報告について」です。事務局は、説明をお願いします。

【事務局】

私の方から、第1号議案についてご説明をさせていただきます。まず、表紙裏面にある画像ですが、昨年8月30日に開催しました来場者80万人達成記念式典の様子です。大井川町時代の2004年のオープンから、多くの子どもたちに利用していただき、おかげさまで来場者80万人を達成することができました。下の画像は3月に実施しました黒はんぺんまつりの様子です。こちらも盛況でした。

それでは焼津市大井川児童センター令和7年度事業実績についてご報告させていただきます。1ページ目第1号議案をご覧ください。令和7年度は計51事業を実施しました。令和5年度から実施している「こどもかいぎ」は10回実施し、313人の参加がありました。子どもたちが主体となりやってみたいことや何をして遊ぶかを話し合い、ドッジボールなどの遊びの中で、意見交換や他校の児童との関わりから子どもたちの自主性が育まれました。

「放課後の居場所づくり」は11回実施し、261人の参加がありました。放課後を利用して、体を使い遊ぶことで仲間づくりと子どもたちの居場所を創出しました。事業参加者数については、合計で9,106人の方に参加いただきました。令和6年度の事業参加人数は、5,211人でしたので、3,895人、74.7%の増となりました。

続きまして5ページ目をご覧ください。令和7年度の利用状況となります。

上の表の中央：児童利用者数 合計Aは10,800人で前年度と比較しまして238人、2.2%の増となっております。その右側、保護者を含めた総数、利用者合計A+Bは12,777人で、前年度と比較しまして173人、1.4%の増となっております。

児童学齢別利用者数（表の左・その下に棒グラフ）では、小学校5年生までの利用者が多く、小学校6年生、中・高生になると塾や習い事、部活動等で忙しくなることや興味が徐々に他のものに移ることなどが推測され、高学年児童の利用者数の減少は致し方ないところもあると考えております。月別利用者数（中央の棒グラフ）では、例年同様であり、夏休み及び春休みの長期休暇の利用者が多い状況です。

次に学区別児童利用者数（中段）は、児童利用者10,800人のうち52%が大井川地区（東・

西・南・大井川中)の児童・生徒となります。その中でも、地元の大井川東小の児童が72%を占めています。平日は大井川地区の子どもたち、土日祝日は市内のその他の地区や藤枝市、吉田町、島田市等の近隣市町、そして、学校の長期休暇中は静岡市、牧之原市など県中部地区からの利用者が多くなります。

6ページをご覧ください。令和7年度の団体利用の実績です。大井川南小学校の1年生と特別支援学級の施設見学及び放課後デイサービスの利用がありました。9ページの合計欄をご覧ください。表の中央部最下段ですが、小中学生が455人、高校生、先生や指導員を含めた実績は、表の右側最下段となりますが計732人でございました。

10ページをご覧ください。併設する子育て支援センターの利用状況となります。表の右側上から3行目になりますが、年間で24,143人の親子の利用がありました。平均すると1日で32組の利用となります。前年度と比較しまして2,664人、9.9%の減となっております。地区別では児童センター同様、地元の大井川地区の方が約18%と高い割合となっております。児童センター利用者12,777人と合わせまして、年間36,920人(前年39,411人・対前年度比93.7パーセント)の方にとまとびあをご利用いただきました。

【池谷会長】

ありがとうございました。ただいま事務局の説明が終わりました。令和7年度大井川児童センターの事業報告について、御意見御質問ありましたらお願いいたします。

(挙手なし)

【池谷会長】

児童の利用者数を見ますと、子どもが少なくなる中で数値の落ち込みもありましたけど、順調に増えてきているということで、非常に良い数字ではないかと思います。では、引き続き令和8年度の事業計画についてお願いします。

【事務局】

それでは続きまして、第2号議案をご覧ください。令和8年度事業計画についてご説明させていただきます。

11ページをご覧ください。14事業の実施を予定しております。

No.1「こどもかいぎ」は全5回を予定し、地元の子どもが中心となって継続的に参加することができるよう平日の夕方に実施しています。No.3「スペシャルチャレンジデイ」は4月から3月まで毎週水曜日の実施とし、普段より少し難しい工作に挑戦したり、体を動かしたり、様々な学年や地域の子どもと交流することができるよう計画をしています。

昨年度は生きがい・交流部スマイルライフ推進課の青少年ボランティア人材バンクに登録者の中・高校生さんに、延べ76人御参加いただいております。今年度も積極的にお手伝

いをいただきたいと考えています。

地域交流事業としましては、10月3日のほほえみまつり、それから11月3日の大井川フェアへの参加を予定しております。

また、感染症予防対策について御説明いたしますと、新型コロナが5類感染症に位置付けられ約3年となりますが、皆様に、安心してご利用いただけるよう、貸出おもちゃのこまめな消毒や、閉館後のドアノブ、窓ガラス等の清掃、除菌ボックスやオゾンクラスターによるおもちゃの除菌・消毒など、丁寧な対策を継続して実施しております。来館される皆様には、手洗いの呼びかけなどさせていただいており、今後も事業実施に当たりましては、感染症対策を継続し、安全・安心な運営に努めてまいりたいと考えています。今後とも皆様の御協力をお願いいたします。これで令和8年度の事業計画の案のご説明を終わらせていただきます。

【池谷会長】

ありがとうございました。去年は大きなイベントがあつて大変だったのですが、今年度は特別なイベントはないですか。

【事務局】

はい。

【池谷会長】

それでは順番をお願いします。

【内田委員】

一番感心させられるのは、目に見えない尽力だと思っています。環境整備や衛生面に関して課長から説明がありましたけれど、きっちりと消毒等やっけていただいているのが安全に繋がっていくかと考えています。今施設の中を見渡しても素晴らしいと改めて思います。

先日仕事で豊田に新しくできた地域交流センターには行きましたが、焼津市の市の政策として、子育てや子どもたちのための取り組みをしっかりとやっけてくださっているなということを感じました。

【渡邊委員】

利用者の中でも52%が大井川地区、その中でも72%が地元の子どものお世話になっていると、ありがたく思います。子どものために子ども主体で、考えていただいているいろいろな活動をしていただけることに感謝申し上げます。

6ページに団体利用の実績とありまして、放課後デイサービスの利用の方がたくさんあり

ます。団体さんに利用していただいて、心強いというか、開かれているということでありがたいなと思います。

学校には毎月おたよりをいただいているのですが、団体さんにも広報等はやっているのでしょうか。

【事務局】

年 2 回程度ですが、地域の方にぜひ利用していただきたいということで、その月のイベントに線を引いて招待状という形でお届けしています。

【渡邊委員】

団体さんが利用したうえで、こんな施設があるよと口コミで広まっていくかなと思いますので、これからもよろしくお願いします。

【池谷会長】

ありがとうございます。一人でも多くの方にいろんな形で知っていただく必要があると思います。今はネットの時代であり、情報というのは非常に重要なので、ぜひ充実してやっていただければと思います。

【鈴木委員】

初めて建物に入らせてもらって、天井も高く、素晴らしい施設だなと感じております。また、報告していただいた内容を見させていただいて、子ども心をときめかせるイベントをやっている中に、皆様のご尽力をありがたく感じております。

その中で、先日熊本の地震がありましたし、静岡県にも 30 年以上前から大きい地震が来るといわれている中で、とまとぴあで防災訓練のような取り組みのお話を聞かせていただければと思います。

【事務局】

定期的に防災訓練の中で、様々なシチュエーションを考えて実際に避難訓練を行っています。今度 8 月 6 日にも、避難所までの訓練をさせていただく予定です。

【澤口委員】

事業計画をお聞きして、事業参加者数が 75% 増になった中で、項目で見ると卓球の人数が増えているのはなぜか教えていただけますでしょうか。

【事務局】

卓球台が壊れてしまい、令和 6 年の途中から使えない時期がありまして、利用者数が減ってしまいました。令和 6 年度末に新しく購入したため、令和 7 年度の利用者数が増加したという形となります。

【片瀬委員】

事業を見させていただいて、自身も主体性とか挑戦することを目標にして保育を行っていますが、同じ気持ちで子どもたちに接していただいていることを嬉しく感じました。これからもよろしくお願いします。

【丸山委員】

自身もとまとびあになる前の児童館の時からずっと育ってきたようなもので、知っている先生方、お世話になった先生方と、とまとびあで再会するということがあり、今の子どもたちも大きくなったときに同じような経験ができる場所として、ずっと残っていつくれば嬉しいなと思います。次の世代の人たちもずっと利用できる児童館であってほしいなと思っています。

中学生は利用できるのですか。

【事務局】

利用できます。児童センタースペースが 18 歳まで利用できます。

【池谷会長】

年齢制限はありますか。

【事務局】

児童センターは 18 歳までの利用とさせていただいています。

【池谷会長】

保護者という形でも入ってはいけないのですか。

【事務局】

保護者も児童センターの利用ができていた時に、子どもだけで来ている利用者が委縮してしまったことがあり、子どもたちの気持ちを大事にしようということで、子どもだけの利用にさせていただいています。

【半田委員】

いつも利用させていただいてもらっています。近くに無料で遊べるところがあって本当に感謝しています。

このような児童センター・支援センターで預かってくれるサービスがあったらいいなと思います。保育園の一時預かり保育を利用したこともあります、なじみのある施設で預かってもらえたら嬉しいなと思います。

【事務局】

子育て支援センターでは預かるようなサービスは行っていないのが現状です。

焼津市にはファミリー・サポート・センターという事業がありまして、その事業を利用いただければ、一番希望に近い形でサービスを提供することが可能であると考えます。

【池谷会長】

支援センターは焼津市に何箇所あるのでしょうか。

【事務局】

9箇所です。

【池谷会長】

支援センターで一時預かりをする可能性は将来的にあるのでしょうか、あるいはどこかほかの自治体が実施している例はあるのか、少し研究していただきたいと思います。

【油井委員】

先日、イベントのお手伝いをさせていただきました。私が帰るときに、参加した子供たちが「今日はありがとう、またきてね。」と言ってくれました。「また」という言葉には、私にも来てもらいたいと思っている気持ちと、子ども自身がまた来るという気持ちがこもっています。子どもたちがまた来たいと思ってくれる、いい場所になっているなと嬉しく思いました。

また、工作をしている児童に声をかけた際、目的を持って工作をしているし、アイデアがあるし、帰り際お礼を言ってくれる子どもたちをみると、礼儀や知的にも学ぶことができる場所であると嬉しく思います。

【田端委員】

初めて施設に入った際、すごいなと、自分の子が小さいときに知っていたら遊びに来させなかったと思います。

先生方が、どうしたら子供たちが楽しんで遊べるのだろうかというのを一所懸命に考えていらっしゃるのを見て、いいなと思いました。また、子育て支援センターの方では、子ど

もを遊ばせながら相談できるのがいいなと思いました。これからも子育て世代のお母さんが安心して相談できる場所が続いたらいいなと思いました。

【事務局】

相談業務としては、市営 4 箇所の子育て支援センターに、子育てコンシェルジュという相談業務を受け持つ職員を配置させていただいております。

【池谷会長】

施設の老朽化の問題はありますか。

【事務局】

現時点では、修繕で収まる程度の不具合で済んでいます。焼津市内の、公共施設を長期的に運用していこうという計画があるので、それに則りエアコン修理や館内の LED 化などは進めていく予定です。

【事務局】

小学生の利用者が少なくなってきたので、私たちに考えながら事業を行っているところです。地域の皆様に支えていただいて成り立っているなと思います。

学校、家庭とはまた違った形での居場所となるように、子どもたちは日々成長していく中で、心のよりどころになってくれたらいいなと思います。顔を出してくれる大人にもいい居場所だと思ってもらえるように、子どもたちが自分の気持ちを伝えたりできるような場所にできるように、日々努めてまいります。

【池谷会長】

それでは本日の議事は以上で終了いたします。後の進行は事務局の皆様をお願いいたします。

